

令和4年度 茨城県立農業大学校評価表

重点目標Ⅳ 【 学生自治会活動の活性化 】

1 現状及び課題、並びに評価項目

現 状	課 題	評価項目（達成目標）
○本校では、寮生活や農大祭を始めとする学校生活を通じて自立と協調の精神を養うため、自治会が設置されている。ここで得られる知識や経験は、将来、農業振興に貢献する優れた農業者等になるためには大変有用であり、自治会指導は本校教育の重要な柱となっている。	○自治会活動の自主的な運営を実施するための、学生の組織運営能力を向上させる。	自治会委員会の運営力向上 執行委員会の開催 年4回 常任委員会の開催 年6回
○新型コロナウイルス感染症対策のため、学生寮を2人部屋から1人部屋としたことにより、通学者が増加している。また、農大祭等の学生活動が減少しており、学生同士が交流する機会が減少していることから、学生の自主性や協調性を養う機会を失っている。	○新型コロナウイルス感染症対策を考慮したうえで、学生同士の交流を促進し、交流の機会を確保する。	自治会活動の充実 環境美化活動回数 年4回 学生自主活動回数 農業部 年4回 園芸部 年5回

2 評価項目別の評価及び次年度の課題等

(1) 自治会委員会の運営力向上

達成目標	達成度	評価の概要	関係者評価委員会からのコメント（全般）	達成度の評価基準	
農業部 執行委員会の開催<年4回> 常任委員会の開催<年6回> 園芸部 執行委員会の開催<年4回> 常任委員会の開催<年6回>	A	達成目標に対し、農業部の執行委員会開催は年7回、常任委員会開催が年9回、園芸部の執行委員会開催は年5回、常任委員会は8回であり、達成度は100%以上となった。 自治会役員に対して、円滑な学生活動の運営、施設の整理整頓等について、自治会として取り組むように指導を行ったことで、学生の自治会活動に対する意識が向上し、委員会活動回数は目標を上回った。積極的に数多くの委員会活動を経験したことにより、学生の組織運営能力は向上した。	コロナ禍で交流が制限される中、多くの委員会活動を経験させ、自治会活動を活性化させていることは評価できる。 A評価は適当である。	A	100%達成
				B	80~99%の達成
				C	60~79%の達成
				D	40~59%の達成
				E	39%以下の達成

目標達成に向けた具体的方策	具体的方策の取組実績及び成果	次年度の課題	関係者評価委員会からのコメント
<p>ア【継続】自治会役員への助言・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生ニーズに合った自治会活動を、自主的に実施できるように、学生個々の指導力の向上を図る。そのため、職員が自治会長や執行委員、各常任委員長に対して、助言・指導を行う。 助言・指導 随時 <p>【参考】学生自治会組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自治会長 <ul style="list-style-type: none"> 執行委員会：副会長、会計、書記 常任委員会：【農業部】広報、給食、体育、厚生、環境、駐車 【園芸部】生活情報、体育文化、食事、厚生、管財、美化 実行委員会：農大祭など随時 	<p>ア 自治会役員への助言・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の円滑な学生活動の運営、施設の整理整頓について指導した。寮の運営に関して、1年生から直接職員へ相談が持ち込まれていたケースがあり、自治会役員に対して、1年生に自治会について改めて周知するとともに、寮の運営に関して自治会で検討するように指導した。 <p><農業部委員会開催回数> 執行委員会 7回 常任委員会 9回（駐車4回、環境5回）</p> <p><園芸部委員会開催回数> 執行委員会 5回 常任委員会 8回（体育4回、美化3回、厚生・食事1回）</p> <p>【成果】 自治会活動に対して、学生が自ら取り組む姿勢が見られ、各委員会の開催回数は目標を上回り、多くの委員会活動を経験したことにより、学生の組織運営能力は向上した。</p>	<p>ア 自治会役員への助言・指導</p> <p>学生の自主活動を活性化させるために、引き続き、委員会の運営をサポートしていく。</p> <p>運営のサポートに関しては、学生活動に対し、職員が主体となってしまうこともあり、今後、学生の自主性をどのように促し、どう評価していくかが課題である。そのため、他の農大自治会と意見交換するなどし、情報収集を行うとともに、学生指導のための研修を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自治会活動は、学生に役割を与え、その責任を果たさせることで、自主性や責任感を醸成することにつながると思うので、学生が委員会などに参加し、役割を担う機会を増やしてほしい。

(2) 自治会活動の充実

達成目標	達成度	評価の概要	関係者評価委員会からのコメント（全般）
環境美化活動回数 農業部 年4回 園芸部 年4回 学生自主活動回数 農業部 年4回 園芸部 年5回	A	環境美化活動は農業部4回、園芸部4回、学生自主活動は農業部4回、園芸部5回実施し、目標達成度は100%であった。 学生の寮生活については、寮の改善を実施する中で、学生には寮の課題に対して、自ら行動する姿勢がうかがえた。学生の自主性や協調性が向上し、寮の生活環境が改善された。学生活動については、規模を縮小するなどコロナ禍の影響はあったが、概ね予定通りに実施し、学生同士の交流機会を確保することができたことで、学生の自主性や協調性を養うことができた。	コロナ禍においても、感染防止対策を講じ、規模を見直しするなどして、3年ぶりに体育祭や農大祭を開催できたことは評価できる。さらに、校外でのボランティア活動なども、自主性や協調性を養う機会として、今後活動の展開を期待する。 A評価は適当である。

達成度の評価基準	
A	100%達成
B	80～99%の達成
C	60～79%の達成
D	40～59%の達成
E	39%以下の達成

目標達成に向けた具体的方策	具体的方策の取組実績及び成果	次年度の課題	関係者評価委員会からのコメント
ア【継続】生活環境改善への助言・指導 ・職員が、寮の巡回を月に1～2回程度行い、寮に関する課題を確認しつつ、寮の生活環境の改善について自治会として、自ら行動できるように、助言・指導を行う。 助言・指導 随時	ア 生活環境改善への助言・指導 ・環境美化活動を農業部4回、園芸部4回実施し、主に共有スペースの整理整頓をこころがけるよう指導した。 ・農業部では、駐車場について、運転初心者が多くまた雑草等で駐車場のラインも明確ではなく駐車が雑になり危険であるということから、駐車委員、環境委員が連携して駐車場整備を実施した。 ・園芸部では、女子寮の風呂、トイレの汚れが目立つということから、2年生美化委員が主体となり、1年生に対し、清掃指導、清掃当番の人数を増やし、清掃の頻度を多くするといった対策を実施した。 ・寮の生活環境改善について学生自ら行動する姿勢がうかがえた。	ア 生活環境改善への助言・指導 ・寮の生活環境改善について、自治会として自ら行動できるように、引き続き助言・指導を行う。	・コロナ禍で行事実施が見送りになることで行事運営ノウハウの流失は避けられない。これを防ぐため、様々なイベント等に積極的に参加し、様々な機会に触れることが大切である。 ・学生に、物事をやり遂げ達成感を味わわせる経験は非常に大事なので、小さなことでも携わらせる機会を作ってほしい。 ・自治会行事のほかにも、地域のボランティア活動など、自主性や協調性を養う機会を提供してほしい。
イ【充実】学生自主活動実施への助言・指導 ・学生が自主活動を計画・実施するうえで、コロナ対策にも対応できるように、内容・日程等について助言、指導を行う。 農業部：新入生歓迎会（部、コース別、夏休みまでに）、体育祭（5月）、農大祭（11月）、2年生を送る会（2月） 園芸部：新入生対面式（4月）、体育祭（5月）農大祭（10月）、地域美化活動（11月）、2年生を送る会（2月）	イ 学生自主活動への助言・指導 各活動に関して、主に、全体のスケジュール管理、コロナ禍における活動方法等について助言を行った。 <農業部> 活動回数4回 ・新入生歓迎会は、全体では実施されず、各部・コース別に実習の時間での簡易なものとなった。 ・体育祭は5/13、坂東市体育館で、園芸部と運営に関して連携を取りながら合同で実施した。 ・農大祭については、5/10に第1回実行委員会を開催し、以後夏季休業・長期派遣実習中を除き、毎週水曜日の放課後に打ち合わせを実施した。コロナ禍という状況を踏まえ、参集対象は学生の家族に限定、日程も1日のみとし、11/5に実施した。参加者は学生、来場者合わせて175名であった。 ・2年生を送る会は2/3に、コロナ禍のため来賓は招待せず開催した。褒賞授与式を全体で実施し、食事会・交歓会を各コースに分かれて実施した。 <園芸部> 活動回数5回 ・新入生対面式は4/14、学生集会の中で実施した。 ・体育祭は運営主体を農業部、園芸部、年度ごとに交互に担当しており、今回は園芸部であった。4/21から当日までに体育委員を中心に4回打ち合わせを実施、農業部と連携を取りながら5	イ 学生自主活動への助言・指導 ・計画した活動は概ね計画通り実施できたが、3年ぶりの開催であり、また、新型コロナウイルス感染防止の対応でもあったため、企画・運営がうまくできず、職員の支援割合が高くなってしまった。次年度は、それぞれの活動における反省点、課題を次の学年にしっかり引き継ぎ、学生がより主体的に活動に関われるよう、助言・指導を行う。	

<p>ウ【継続】内部の情報共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業部、園芸部の職員が学生の自治会活動に対して共通認識を持って助言・指導を行えるように、生活指導委員会を開催する。(2月) 	<p>/13、坂東市体育館で合同で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農大祭については、7/6に第1回実行委員会を開催し、以後主に毎週水曜日の放課後に打ち合わせを実施した。コロナ禍という状況を踏まえ、参集対象は学生の家族に限定して10/8に開催し、約100名の参加があった。 ・地域美化活動としては、12月9日に実施した歩く会の中でコース途中のごみ拾いを実施した。 ・2年生を送る会を2/3に実施した。褒賞授与式後、学生によるイベントを実施した。 <p>ウ 内部の情報共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> 2/6に、テレビ会議による生活指導委員会を実施した。自治会活動に関する課題等について農業部・園芸部と意見交換を行い、情報を共有化した。 <p>【成果】</p> <p>計画した体育祭、農大祭、歩く会などの活動を概ね計画通り実施し、学生同士の交流の機会を確保することができ、学生の自主性や協調性を養うことができた。</p>	<p>ウ 内部の情報共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導委員会の開催について、開催回数を年4回程度に増やし、農業部、園芸部との情報の共有化の向上を図る。 	
---	--	---	--